

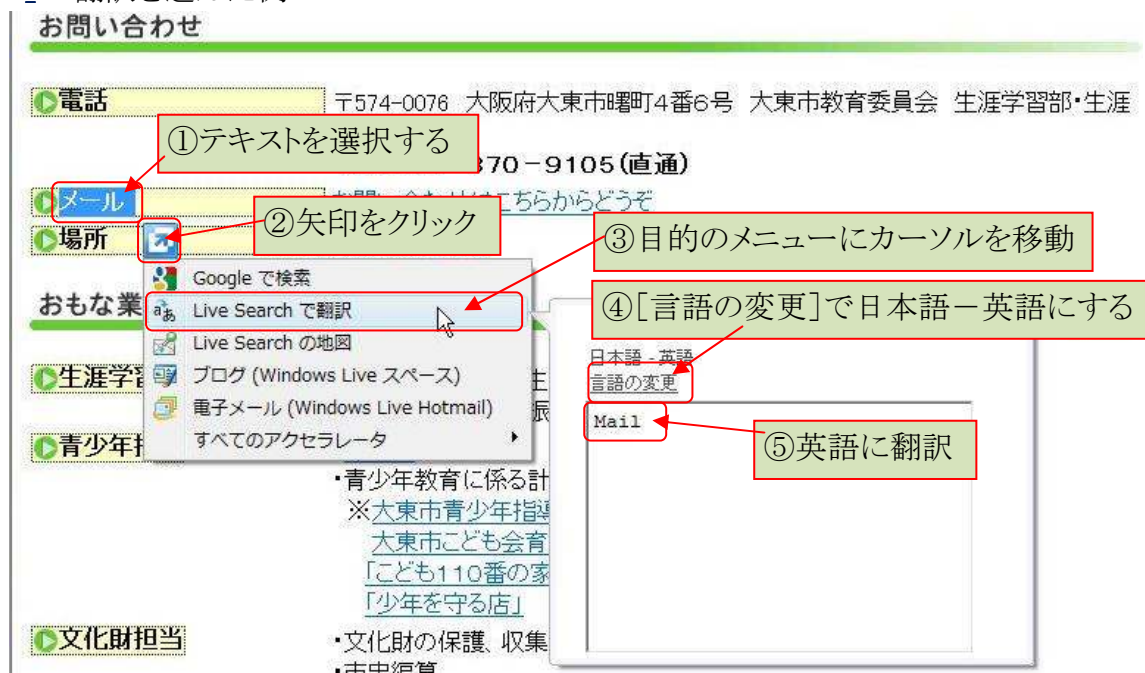
IE8_5

新機能紹介

1 アクセラレータ

ブラウザ上のテキストをドラッグで反転させると自動的に青い矢印のアイコンが表示され、それをクリックし、目的のメニューを選択すると、ポップアップで情報が表示される。翻訳や、辞書検索、住所検索など新たにタブを開くことなくワンクリックで利用できる。

1.1 翻訳を選んだ例



1.2 上記例で③のメニューをクリックした場合

[Translator]のタブが追加され長い文の翻訳も確認しやすい。



1.3 アクセラレータをカスタマイズ

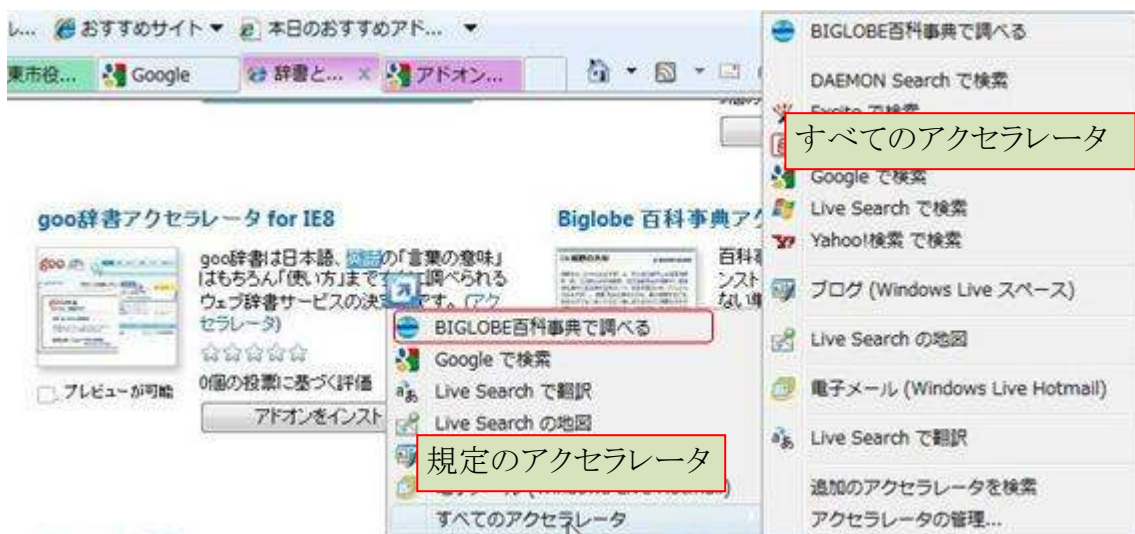
1.3.1 アドオンギャラリー (<http://www.ieaddons.com/jp/>) から追加することができる。
追加したいアクセラレータを選択し、[アドオンをインストール] ボタンをクリック



1.3.2 [アクセラレータの追加]ダイアログが表示されるので[追加]ボタンをクリックする
→[このアクセラレータ区分の規定プロバイダーに設定する]にチェックを入れると規定のアクセラレータになり、表示される。

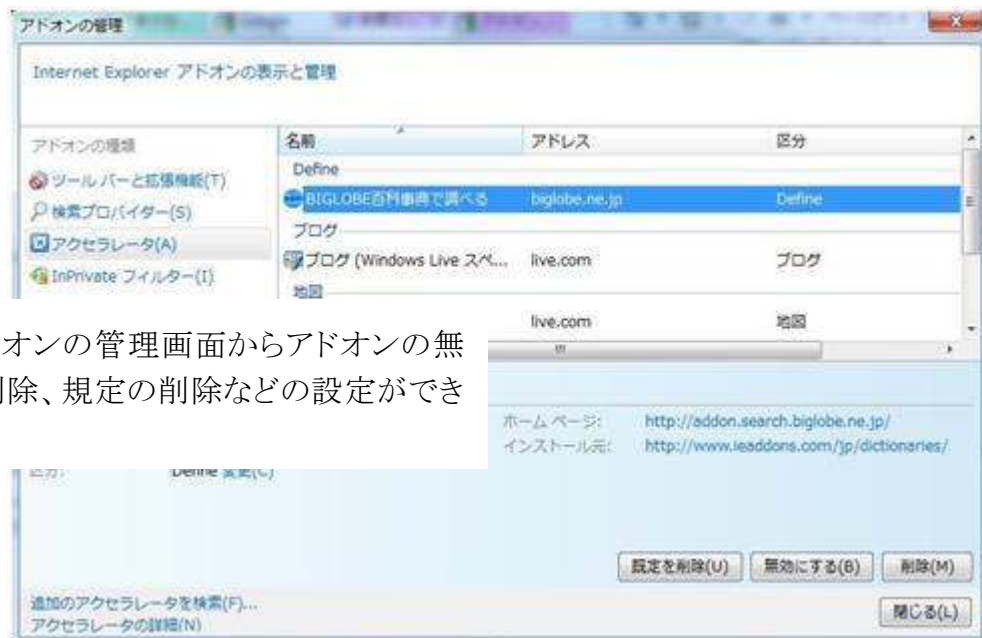
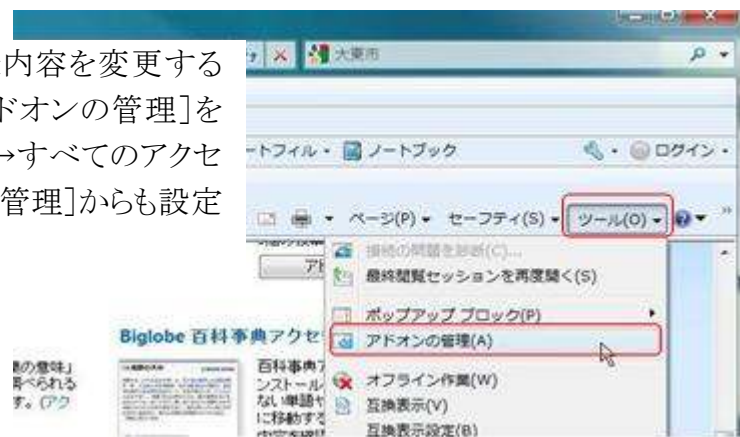


1.3.3 規定のアクセラレータに追加された様子



1.4 アクセラレータの設定

1.4.1 アクセラレータの登録内容を変更するにはツールメニュー→[アドオンの管理]を選択する(ページメニュー→すべてのアクセラレータ→[アクセラレータの管理]からも設定可能)



1.4.2 アドオンの管理画面からアドオンの無効化、削除、規定の削除などの設定ができる。

2 Web スライス

あるページの一部だけ切り取って、リンクバーに登録し、実際のページにアクセスすることなく最新の情報を閲覧するという機能。


スポーツニュースや天気、オークションなど 1 日に何度も確認する類の情報をチェックするのに便利な機能

Web スライスに対応したウェブページしか利用できない。利用できるウェブページは [Web スライス] ボタンが緑に変化する。


Yahoo オークション、価格・com、Goo 今日の天気などが対応している。


2.1 Web スライスの追加

2.1.1 次のいずれかの操作を実行します。

i) コマンドバーの[Web スライス]ボタン  をクリックします。



ii) ページの[Web スライス]ボタン  をクリックします。

価格表示の場所にカーソルを移動すると緑の  ① ボタンが現れそれをクリックする。



2.1.2 ダイアログ ボックスで[お気に入りバーに追加]をクリックします。

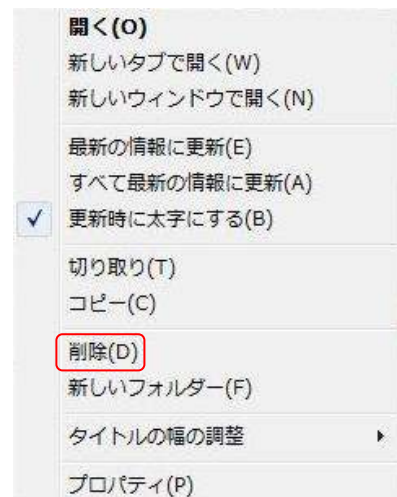


2.1.3 Web スライスを追加すると、お気に入りバーの左側に表示されます。



2.2 Web スライスをお気に入りバーから削除する

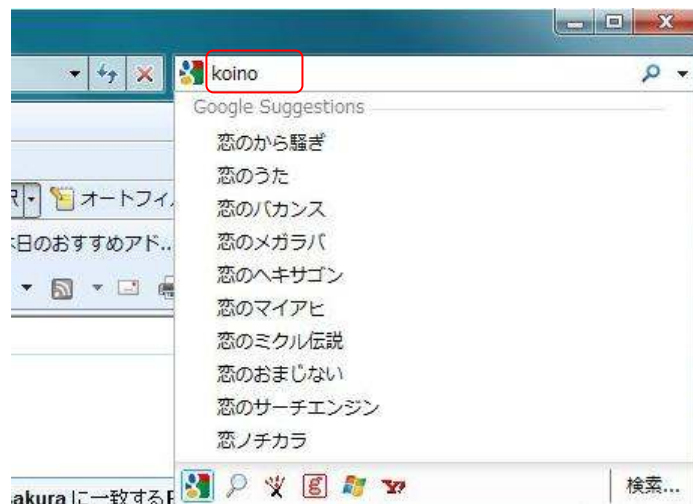
お気に入りバーから Web スライスを削除するには、その Web スライスを右クリックし、[削除]をクリックします。



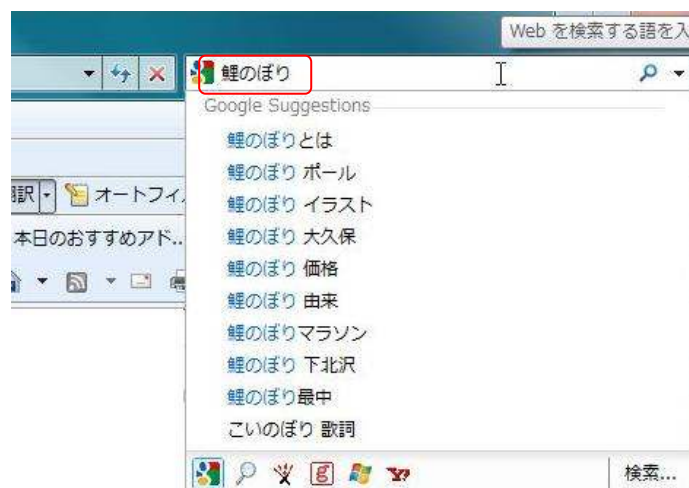
3 検索バー

3.1 検索したいキーワードを入力するその最中にも、入力した文字に関連性のある語句が検索キーワード候補として表示される。また、過去に入力した検索履歴が表示されるので、一致するものがあればそこから選べばよい。

ローマ字入力だと瞬時に候補の語句が表示される。[鯉のぼり]の語句を[koino]と途中まで入力したところ、図のように候補の語句の一覧が表示される



3.2 検索する語句を確定すると、語句に関する検索履歴や検索候補が表示される。「鯉のぼり」で一度語句を確定すると、「鯉のぼり」に関する検索履歴や検索候補が表示される。




3.3 検索バーのプルダウンで検索プロバイダーを選択できる。同じ語句をプロバイダーの切り替えで検索することができる。

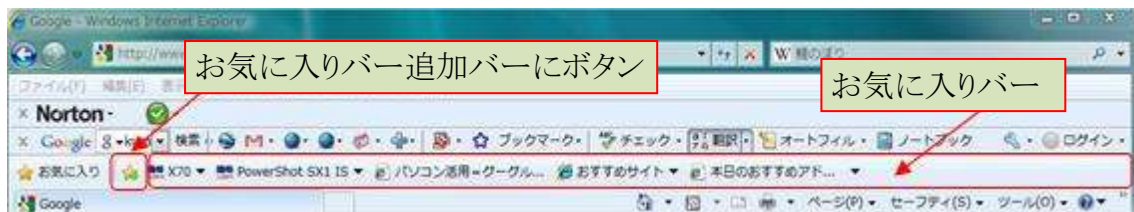


検索語句を[鯉のぼり]してプロバイダーを[Wikipedia]した例



4 機能追加

4.1 [お気に入りバー]と[お気に入りバー追加]ボタンが新たに追加された。
[お気に入りバー追加]ボタンは[お気に入り]追加  と異なるので注意。



4.2 [セーフティ]メニューが加わ割り、「閲覧の履歴の削除」や新機能「SmartScreen フィルター」「InPrivate ブラウズ」などが含まれている。

4.2.1 SmartScreen フィルターはスパイウェアがダウンロードされるなどの危険性があるサイトを警告する。

危険を感じるサイトを表示した場合、[このサイトを確認する]①を選べば調査結果③が表示される。

① この Web サイトを確認する(C)
SmartScreen フィルター機能を無効にする(F)... ②
安全でない Web サイトを報告する(R)

SmartScreen フィルター機能(T)

SmartScreen フィルター機能

SmartScreen フィルター機能により、この Web サイトを確認しましたが、脅威は報告されませんでした。
このサイトが脅威を含んでいると Microsoft に報告されていますが、アドレスを確認して信頼するサイトであることを確認してください。このサイトが安全ではないサイトである確信がある場合、[セーフティ] ポリシー (SmartScreen フィルター機能)、および [安全でない Web] Microsoft SmartScreen フィルター機能

③ SmartScreen フィルター機能はどのように保護に役立ちますか?

ブラウザをより安全にするために:
SmartScreen フィルター機能のセットアップ

SmartScreen フィルター機能は、別の Web サイトに偽装している可能性がある Web サイトや、お使いのコンピュータへの脅威を含んでいる Web サイトを開覧しようとした場合に警告が表示するように設計されています。
SmartScreen フィルターの説明

④ SmartScreen フィルター機能を有効にする (推奨)(O)
Web サイトのアドレスによって Microsoft へ送信されて照合が行われます。Microsoft が受信した情報はお客様個人を特定する目的では使用されません。

SmartScreen フィルター機能を無効にする(F)
Web サイトのアドレスの照合が選択されない限りは、アドレスは Microsoft へ送信されません。

OK

オンラインの [Internet Explorer プライバシーに関する声明](#) を参照してください。

危険かどうかを検証する
[SmartScreen フィルター]機能自動で働くようにする。②を選択し、④にチェックを入れて OK する。

4.2.2 「InPrivate ブラウズ」は履歴を残さずに Web ページを閲覧するためのシークレットモードである。

InPrivate は有効です

InPrivate ブラウズが有効になっている場合は、このインジケータが表示されます

[セーフティ]メニューから[inPrivate ブラウズ]を選ぶと Cookie が残らないモードのウィンドウが開く。アドレスバーに[InPrivate]のインジケータが表示される。

ページが表示されました

インターネット | 保護モード: 有効

4.3 関連性のあるタブどうしを同色で色分けする。

